

平成 24 年 7 月の北海道の自殺者数は 130 人でした。また、全国の自殺者数は 2,377 人、そのうち男性は 1,582 人、女性は 795 人でした。

以下に、北海道および全国の前月比と前年同月比の自殺者数を示します。

1. 平成 24 年 7 月末と平成 24 年 6 月末の月別自殺者数の比較 (単位:人)

	北海道	総数(全国)	男性(全国)	女性(全国)
平成 24 年 7 月	130	2,377	1,582	795
平成 24 年 6 月	113	2,295	1,620	675
増減	+17	+82	-38	+120

平成 24 年 7 月の自殺者数は、前月比では北海道、全国ともに増加しました。また、都道府県別では、自殺者数が増加したのは 26、減少したのは 17、増減なしは 4 でした。

2. 平成 24 年 7 月末と平成 23 年 7 月末の月別自殺者数の比較 (単位:人)

	北海道	総数(全国)	男性(全国)	女性(全国)
平成 24 年 7 月	130	2,377	1,582	795
平成 23 年 7 月	146	2,813	1,888	925
増減	-16	-436	-306	-130

前年同月比においては、北海道、全国ともに減少となりました。また、都道府県別でみると、自殺者数が増加したのは 9、減少したのは 36、増減なしは 2 でした。

3. 平成 24 年 1 月～7 月と平成 23 年 1 月～7 月累計自殺者数の比較 (単位:人)

	北海道	総数(全国)	男性(全国)	女性(全国)
平成 24 年 1 月～7 月	778	16,604	11,550	5,054
平成 23 年 1 月～7 月	856	18,838	12,914	5,924
増減	-78	-2,234	-1,364	-870

前年同期比においては、北海道、全国総数、全国男性、全国女性の全てで減少となりました。また、都道府県別でみると、自殺者数が増加したのは 6、減少したのは 41、増減なしは 0 でした。

◇ 平成 23 年における北海道の同居人の有無別自殺者数[北海道警察提供資料]◇◇◇◇◇

平成 23 年における北海道の同居人別の自殺者数は、北海道警察自殺統計資料によると、1,437 人中、同居人有りが 964 人、同居人無しが 459 人、不詳が 14 人でした。

以下に平成 23 年における北海道の性別・同居人の有無別自殺者数を示します。

	同居人有り	同居人無し	不詳
男性	643 人(65.3%)	238 人(33.3%)	13 人(1.3%)

整理することで、金銭面と精神面において負担が少なくなり、少しでも安心してギャンブル依存症と向き合うことがギャンブル依存症の克服への鍵となるのです※4

以下にギャンブル依存症のチェックリストを紹介いたします。以下の項目で5個以上当てはまる人はギャンブル依存症の可能性が極めて高いとされています。

<ギャンブル依存症のチェックリスト>

- 1.ギャンブルのことを考えて仕事が手につかなくなることがある。
- 2.自由なお金があると、まず第一にギャンブルのことが頭に浮かぶ。
- 3.ギャンブルに行けないことでイライラしたり、怒りっぽくなることがある。
- 4.一文無しになるまでギャンブルをし続けることがある。
- 5.ギャンブルを減らそう、やめようと努力してみたが、結局ダメだった。
- 6.家族に嘘を言って、ギャンブルをやるのがしばしばある。
- 7.ギャンブル場に、知り合いや友人がいない方がいい。
- 8.20万円以上の借金を5回以上したことがある、あるいは総額50万円以上の借金をしたことがあるのに、ギャンブルを続けている。
- 9.支払い予定の金を流用したり、財産を勝手に換金してギャンブルに当て込んだことがある。
- 10.家族に泣かれたり、固く約束させられたりしたことが2回以上ある。

※2(DSMIIIの診断基準より北海道立精神保健福祉センターが独自に作成)

参考・引用資料

※1:田辺等(2010)「ギャンブル依存症(病的賭博)と自殺」精神科治療学 25(2)

※2:北海道地域依存症対策推進委員会, 北海道立精神保健福祉センター「地域で支える依存症からの回復 相談と支援の手引き」

※3:福居顯二 編 (2011)「脳とこころのプライマリケア 8 依存」シナジー

※4:田辺等(2002)「ギャンブル依存症」日本放送出版協会

【3】お知らせ

◇ 平成24年度『第7回北海道自殺対策フォーラム』を開催いたします。

日時:平成24年9月22日(土)13:30~16:30

場所:札幌市教育文化会館(札幌市中央区北1条西13丁目)小ホール

内容:テーマ ~債務問題と自死~

第1部 提言 ① 司法書士会の立場から「借金問題は必ず解決できる」

日本司法書士会連合会自死問題対策委員会 委員長 岩井 英典 氏

提言 ② 依存症自助グループの立場から「女性ギャンブラーの回復」

NPO 法人ヌジュミ 施設長 田上 啓子 氏

提言 ③ 家族の立場から「借金問題の解決とともに必要な支援とは」

NPO 法人多重債務による自死をなくす会 コアセンター・コスモス 代表 弘中 照美 氏

第2部 実践報告① 函館市市民部「市における債務相談対応について」

函館市市民部くらし安心課 主査 三浦 祐一 氏

実践報告② 釧路はまなすの会「クレ・サラ問題について」

釧路はまなすの会 代表 加藤 弘二 氏

実践報告③ 富良野保健所「司法との合同相談会について」

富良野保健所健康推進課 主任保健師 青野 美智代 氏

※入場は無料で、事前申込の必要はありません。当日、直接会場へお越してください。
皆様のご参加をお待ちしております。

◇ 精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で受け付けています。

月曜日から金曜日 9:00～21:00

土曜日曜祝日(12月29日～1月3日を除く) 10:00～16:00

Tel:0570-064556

※ご相談の電話が集中しますと、つながりづらい状態になりますがご了承ください。

◇ HP・携帯版 HP をご覧ください

北海道地域自殺予防情報センターの HP を設置しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく、分かりやすくなるよう心がけています。

また、携帯電話で見られる携帯版 HP も設置しています。うつ病や依存症、借金問題についての知識をはじめ、「死にたい」と相談されたときの対応の方法についての情報を Q&A 形式で紹介しています。ぜひご覧ください。

パソコン HP URL:<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/jisatutaisaku.htm>

携帯 HP URL:<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/i/joukyou.htm>

【4】編集後記

8月後半になってからも気温が30度を超える暑い日もあり、日中はまだ暑い日が続いていますね。その一方、日がだんだんと短くなるなど秋の気配も近くなり、北海道の短い夏への名残惜しさを感じます。残暑厳しき折、体調を崩さぬようご自愛ください。

これからも「Andante」のご愛読を宜しくお願い致します。

次号 Vol.39 は、2012年9月末に配信予定です。

お問い合わせ先

北海道立精神保健福祉センター

札幌市白石区本通16丁目北6番34号

Tel 011-864-7121

Fax 011-864-9546

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/>

Mail hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp